

令和 5 年度 女子栄養大学 栄養教諭教育実習指導に携わって

女子栄養大学 非常勤講師 小峰 和代

1、はじめに

平成 28 年度より令和 5 年度まで、栄養教諭教育実習指導に携わり、栄養教諭教育実習前、実習中の訪問指導、事後指導を行ってきた。

小学校並びに中学校における食育は、給食の時間、各教科や特別活動など、学校教育活動全体を通して進めていくことが期待されている。楽しく、魅力的で、効果的な食育授業を進めるための一助となることを願い支援に当たった。

本稿では、特に教育実習前、実習中の指導を行った研究授業に対する指導内容の一部を紹介することにする。

2、研究授業における学習指導案作成に対する指導内容

①授業を行うにあたり

学習指導要領は、全国一定水準の教育を行う事・教育課程編成の規準、教科等の目標や大まかな教育内容（小・中・高）が記され、学習指導内容解説（各教科編）には、教育内容が詳しく記されている。学校教育法施行規則には、年間標準時数等が記されていることの確認をする。関係する学習指導要領解説特別活動編の目標や内容を確認したうえで、(2) 日常生活や学習への適応を自己の成長及び健康安全の中の「エ 食育の観点を踏まえた学校給食を望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること」の点を強調し、栄養教諭の関わりの重要さを説くようにした。また、主体的に望ましい食習慣・食生活を実現しようとする態度を養えるよう、身近な事例を通して考え、課題に気づき、具体的な目標を立て取り組める活動が中心となるよう指導を行うようにした。また、発達段階に即した指導を行う事の大切さも事例とともに指導するようにした。食の指導では、食育基本法の「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につける」を基本に「望ましい食習慣の形成」給食時間は楽しく食事、健康によい食事のとり方、給食時の清潔・食事環境の整備を計画的・継続的に指導することの大切さについて指導を行った。

指導計画については、年間標準時数の 34～35 時間であり、その中の一部が食指導であること。給食時の指導はその時間には含まれないことを知らせる。栄養教諭として食に関する指導の全体計画及び各学年の食に関する指導の目標・年間計画を学校の実態と合わせて、作成することの大切さを説き、一単位時間の指導計画があることに気づかせ、具体的な内容について触れた。

②分かる・楽しい授業の方法を考えよう

分かる・楽しい授業の方法を考えるために、先輩の授業風景の写真から考えさせるようにした。服装・姿勢・目線・表現・アイディア・板書等を捉え、意見を述べ合い発表する。各々研究授業に臨むため、真剣に場を捉え考え発表していた。「児童・生徒主体の授業」にするためには、教師としてどのように考え、準備したらよいか。指導方法や教材の工夫・提示の仕方。実践的な活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を身に付けさせること。また、五感（見る・聞く・話す・触れる・嗅ぐ）を取り入れることにより、深まりを増す

のではないかとこの点について考え発表。さらに分かる楽しい授業にするために工夫することとして、創造力を活かす。いろいろな自分なりのアイデアをめぐらし、意外性を児童・生徒が捉え喜んで授業に臨めるようにする。さらに身体表現・表情・声の強弱等演技力を駆使し、視覚に訴える授業に取り組めるようにする。児童・生徒の活動場面をできるだけ取り入れ、主体的な授業展開ができる工夫をしていくことが、大切であることを知らせるようにした。

③学生が考えた学習指導案に対する個別指導 *資料 1

特別活動 1 単位時間の指導計画例（指導案形式）の確認をし、指導のねらいや授業者の意図が伝わるように書くことが大切であることを伝え、書き方の概要を指導した。特に題材名（めあて）を工夫すること。評価規準は、事前、本時、事後の一連の活動を見通した評価、目指す児童像の姿を記すようにした。

④指導案検討及び模擬授業

初回は、全般的に見て問題点を見つけ、細部に至った指導を行っている。特に題材観・教材観・評価規準・展開の流れなどに重点が絞られていく。更に題材に沿ったアンケートの内容検討等も行うようにし、疑問点等を解決する。

次回からは、修正箇所を重点に検討を行い、ワークシートや板書計画についても検討、教材・教具の検討も行う。児童・生徒が喜んで参加し、楽しく学習が進められるかを考えさせ、授業者が楽しくない授業は児童・生徒も進んで参加しようとはしない点などについて具体的事例を交えながら考えさせた。

模擬授業では、導入時の授業の入り方、全体を通しての表情や話し方、声の強弱、表現方法、机間巡視や声掛けの様子、教材や提示の仕方、児童・生徒の活動場面や顔色、指示の出し方等に目を向け指導を行う。終了後の授業者の反省とともに、参加者の感想等を聞き、反省会を行い、研究授業に向けた示唆をするようにした。

3、指導事例の紹介

①指導内容

- ・導入は、学習活動を通し、児童が問題点に気づき考えさせ、本時のめあて必要性を導くようにする。
- ・板書は、授業の流れが分かるようにし、目立たせたいもの、重要な言葉、色を変えたり大きく示したりするようにする。
- ・授業は、授業者が楽しくやりがいをもって臨むと、児童も主体的に喜んで「分かった。」「楽しかった。」と言ってもらえる授業になることを伝えた。

②学生が作成した学習指導案

学級活動学習指導案（対象者は、小学校 2 年生 20 名）の教育実習で研究授業を実施後に、修正した案を示す。

4、終わりに

あっという間の 7 年間であったが、「自分はこの題材を取り上げて食を分からせたい。」という信念を持って取り組む学生が少しずつではあったが増えてきた。これまで続けられたのは、学生たちのひたむきな熱意と大学側の学生に対する手厚さがあったからだと思う。このような機会を与えていただいた栄養大の先生方に改めて感謝いたします。